

《令和2年度 児童発達支援事業 事業経過報告》

① 支援内容を明確に伝え、保護者と共通認識を図る

利用児すべてが親子療育から開始し、活動の中で今後療育を継続するか、継続するのであればどのような力を育てるための支援をするか等を伝えている。例年は、並行通園先の先生にも同席していただいていたが、今年は新型コロナウイルスの影響で、同席が難しいこともあった。

各クラスの目標を掲げることで、親子療育から単独療育に移行する際に、なぜそのクラスを勧めるのか、どのような力を育てていくのか、保護者にわかりやすく説明をするように心がけている。

療育の様子についても、保護者により伝わりやすくなるように、連絡ノートによる報告を活字から写真を中心に変えたことで、「活動内容や本人の表情がわかりやすい」「楽しみにしている」等、保護者からの反応があった。

② 関係機関との連携

新型コロナウイルス感染予防の観点から、集合形式による関係機関との意見交換や交流、他機関職員によるつくし園での療育の参観、つくし園以外での訓練の参観等の実践場面や、利用児や保護者を交えての直接的な連携は難しい状況にあるが、個々に関係機関とは連携を行っている。

年長児を対象とした五者面談は、並行通園先の配慮を頂きながら、希望された保護者の利用児すべてに面談を行うことができた。面談を受けた保護者が今後を見据え、納得して学びの場を選択されている。また、就学後の放課後の過ごし方における保護者向けの説明会を、家族会主催で行っている。今年度は、就学後も途切れることなく支援ができる体制を整えておくため、社会福祉課との連携を図っているところである。

③ 迅速かつ丁寧な対応ができるための体制づくり

例年になく対応としては、新型コロナウイルス感染予防の体制づくりが必要となった。

4月～5月の緊急事態宣言発令の際は基本的に休園としたが、子どもの課題等に応じて保護者と相談しながら療育を継続したお子さんもいる（10名）。休園したのはその時期だけであり、登園・降園時の検温やこまめな消毒を行い、密を避けながら療育を実施した。送迎バス利用の利用児に関しては、並行通園先の協力を得て園の送り出しの際に検温をして頂いている。

利用児の課題や保護者のニーズに適切に対応していくための職員育成に関しては、職場内での指導や講義の聴講だけでなく、療育現場における専門職の実演指導など、より身近な場での指導の必要性を感じている。

④ 地域に根ざした事業所

8月8日（土）に、現センターにて事業をするようになってから初めてのつくし園の公開をした。当日は地域で活動されている『紅』さんに新鮮な野菜を販売して頂くなどの協力を得ることができた。地域（主に船岡地区）の子どもから高齢者、その他関係機関の方々を含め40名近くの来場があった。

⑤ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況（今年度の数値は 令和2年12月末現在）

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
前年度	61人	58人	178人	8.2人
今年度	55人	53人	165人	8.3人

(2) 送迎利用児状況（今年度の数値は 令和2年12月末現在）

年度	療育支援輸送事業(人)					つくし園送迎(人)				
	園部	八木	日吉	美山	合計	園部	八木	日吉	美山	合計
前年度	10	9	3	3	25	4	4	0	2	10
今年度	12	4	4	5	25	1	1	1	0	3

(3) 主な活動状況

開催日	内容	場所
4月3日	はじまりの会（中止）	
7月8日	家族の会交流会 ぶどうの木 菅生先生との懇談会 年長児保護者 12名参加	旧川辺小学校 探知ルーム
8月8日	つくし園公開日 10:00～14:00 ●今年度初めて公開日を設けた コロナ感染拡大防止を意識しながら予定通り実施	子育て発達支援センター内
9月4日	家族の会交流会 放課後の過ごし方 南丹市社会福祉課 出野様 南丹市社会教育課 西村様 年長児保護者 8名参加	旧川辺小学校 探知ルーム
9月、2月	だんない交流会（芋ほり・豆まき） 中止	
11月2日・5日・6日 10日・13日・17日	年長児外出活動（往復） 船岡駅発（電車）↔ 園部駅 ↔ 亀岡駅 ●コロナ感染拡大予防のため ・ 外出活動の参加の有無を事前に保護者に確認した。 ・ 本来の5月末の予定を延期にした。 ・ 年中児・年長児であるが年長児のみにした。 ・ 電車・バスを利用していたが、今回は電車のみ利用とした。	亀岡駅前 かめきたサンガ広場 サンガスタジアム
11月	家族の会交流会 利用児全員お楽しみ会 中止	

(4) 会議の状況

開催日	内 容	場 所
4月 1日 5月19日 6月22日 7月29日 8月 6日 9月 4日 10月 1日・26日 11月27日 12月22日	<ul style="list-style-type: none">・行事の確認・体制等の確認・各関係機関との連携報告・利用児に関する職員間の情報共有	つくし園 職員室
療育利用希望者に応じた連携	療育連携会議（社会福祉課・保健医療課・つくし園）	子育て発達支援センター
5月・7月・12月	丹波支援学校連携 電話での連携のみ	
5月21日	南丹市子育て発達支援センター 運営会議 中止	

(5) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
7月 3日 8月 3日 9月 3日	キャリアアップ研修（中級）	1人
9月25日	新人研修	1人
10月 9日 2月19日	南丹市作業療法士 土屋先生の実践研修	6人